

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第1557回例会 令和3年10月14日(木)

【会長代理挨拶】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。会長から休むのでよろしくという事ですが、私は憲法24条に興味があって、制定過程を調べているのですが、その過程で日本の結婚はどうなっているだろうと思って調べたら、面白い記事があったので紹介させていただきます。



荒川和久さんが2018年1月に掲載したウェブ上の記事です。今日の話にタイトルと付けると「結婚の自由化が未婚化を推進している」という事だと思います。見合い結婚と職場結婚の話、直接触れていないけれども、比較として恋愛結婚という事です。

お見合いとは、個人の恋愛感情より家と家という2つの共同体を結びつけるための機能が優先されるものであって、ある面では個人の自由がないと言えます。しかし、個人最適の選択によらず、強制的な全体最適を目指したシステムだからこそ、皆婚が実現できたとも言えます。特に、自分からアプローチできない男性にとってお見合いシステムというのは神システムだったと言えるでしょう。

お見合い結婚と恋愛結婚の比率の推移を表したグラフを見るとお見合いの衰退は顕著です。戦前戦後時期は、お見合い結婚は全体の7割を占めていましたが、今では5%程度しかありません。しかもこれは結婚相談所きっかけ(約2%)を含みますので、伝統的なお見合い結婚はたった3%程度しか存在しないことになりました。そのかわり恋愛結婚が87.7%にまで伸長しています。恋愛結婚がお見合い結婚を上回る分岐となったのは1960年代後半でした。生涯未婚率が上昇し始めたのは1990年代以降です。それよりも30年以上も前に衰退したのであれば、お見合い結婚減は未婚化には無関係だと思いますか？そうではありません。1965年に25歳だった適齢期の男性が、生涯未婚の判断基準となる50歳になった時が1990年です。つまり、お見合い結婚比率が恋愛結婚比率を下回った第1世代は、そのまま生涯未婚率上昇の第1世代となったと言えるのです。

もうひとつ忘れてはならないのが職場での出会いによる恋愛結婚です。これは分類上恋愛結婚とされていますが、当時の職場結婚もまた社会的マッチングシステムのひとつでした。お見

合いよりも自由度はあったと思いますが、出会いの切っ掛けとしてお膳立てされていたということは事実です。しかし、この職場での恋愛は今やセクハラ問題と表裏一体。職場結婚は今後も減少していくでしょう。

お見合いと職場結婚とを合算して1960年代から現在に至る婚姻数の推移をみると、構成比は1960年代の7割から半分の31.9%にまで激減しています。全体婚姻数も減っていますので絶対数の減り幅は膨大です。婚姻数が最も多かった1972年と直近の2015年とを比較すると、お見合いと職場結婚を合算した婚姻数のマイナス分は約46万組となり、婚姻総数のマイナス分とほぼ同等です。つまり婚姻数の減少はこれら2つの切っ掛けの減少分だったと言えるのです。

恋愛で結婚する人は同じでお見合い、職場結婚を昔していた人達が結婚しなくなったとお見合いとかの仕掛けは今後必要ではないかというような意味合いになっていたと思います。

【幹事報告】

畝 徳治

1. 地区事務所より

①RI2770地区ポリオ根絶キャンペーン「クラシックカーラリー」タイムスケジュール

②ロータリー研究会第50回記念講演会の案内

2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま

会員卓話



長岡 倉雄会員

先日感じた事、皆さんも10年、20年後に同じような事を感じるかもしれませんので、お話致します。

先日脊椎矯正師の佐藤さんの卓話がありましたが、自分も体を守っていかなくては思いました。例会が終わり、佐藤さんを囲んで4名で話をしていましたが帰ろうと思っていたのですが、席を用意してもらったので参加しましたが、僕を除いた4人で話をして僕は聞いているだけでした。

プログラムが9月21日がガバナー公式訪問となっていました。例会で会長から28日ですと訂正があったのですが、耳が遠くなっていますので、間違えて21日に行ってしまいました。秩父の顔なじみの会員のひと話をし、秩父はお弁当という事で、出席確認をした人数分しかないとの事でしたが、その顔なじみの人が自分のお弁当を譲ってもいいと言ってくれたのですが、そこまで迷惑はかけられないので、帰ってきました。28日には山田さんから迎えに行きますと連絡があり、その時間ぴったりに迎えに来てもらいました。そしてガバナー公式訪問例会に参加したのですが、耳が遠くなっているので、話の内容が良く聞き取れません。自分は耳が遠くてダメなんだと感じました。後で週報を見て内容を理解しました。自分もある程度進退を考えた方が良いのかなと思ってしまいました。

自分というものを反省してみたのですが、僕は人間的にロータリーに入っている人間ではないと感じました。そこで宝塚歌劇団が公式に貼った物ではなく、誰かが貼った「ブスの25箇条」という事の話をして。この内容がよく自分に当たっているように感じてしまいました。

1. 笑顔がない
2. お礼を言わない
3. 美味しいと言わない
4. 目が輝いていない
5. 精気がない
6. いつも口がへの字をしている
7. 自信がない
8. 希望や信念がない
9. 自分がブスであることを知らない
10. 声が小さく、いじけている
11. 自分が正しいと信じ込んでいる
12. 愚痴をこぼす
13. 他人を恨む
14. 責任転嫁がうまい
15. いつも周囲が悪いと思っている
16. 他人に嫉妬する
17. 他人に尽くさない
18. 他人を信じない
19. 謙虚さがなく傲慢である
20. 人のアドバイスや忠告を受け入れない
21. 何でもないことに傷つく
22. 悲観的にものごとを考える
23. 問題意識を持っていない
24. 存在自体が周囲を暗くする
25. 人生においても仕事においても意欲がない

ブスという事を考えて、みんな該当するようではダメだなと思いました。私も85才になります。バレエをやっていた同級生は黄泉の国へ旅立ちました。これからはロータリーに少しでも貢献して、惚けないために頑張っていこうかと思っています。

そこで装道きもの学院会長山中典士氏の「惚けないための9つの法則」についてお話しします。

1. 人生に目標を持って生きよう
2. 人から見られている意識を持つ
3. 仕事や趣味に戯れよう
4. 手と足と頭を面倒がらず使おう

5. 人のために役に立つことを喜ぼう
6. 常に進歩、向上を目指して、人生に挑戦する覚悟を持つ
7. 小さな発見にも驚きと感動を示そう
8. 年齢を重ねることに誇りを持つ
9. 生かされ守られ導かれているのだという感謝の念を持つ

このような事を考えて行動すれば、周囲の人から好感情を持ってもらえると思うし、これまでの行動を反省しながら、世のため人のために頑張っていくのが、僕の人生の罪滅ぼしなのかなとも思いました。皆さんの卓話を聞いていると、前向きな話、なるほどという内容の話ですが、今日の僕の話は自分の事の話で、何だと思われたかもしれませんが、心境を素直に話しました。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
10	0	5	2	70.0%

